

前

国

語

人間文化学部

生活デザイン学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

(60分)

地域文化学科

(90分)

注意事項

- 1、解答開始の合図があるまで、この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。
- 2、問題は3題で、14ページありますが、志望する学科によって解答する問題が異なるので注意しなさい。指定されていない問題を解答しても採点しません。
- 3、生活デザイン学科・人間関係学科・国際コミュニケーション学科を受験する者は、第1問・第2問を解答しなさい。地域文化学科を受験する者は、第1問〜第3問を解答しなさい。

この注意事項は、問題冊子の裏表紙に続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

- 4、解答開始後、解答冊子の表紙所定欄に受験番号、氏名をはっきり記入しなさい。表紙にはこれら以外のことを書いてはいけません。
- 5、解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入しなさい。解答に関係のないことを書いた答案は無効にする場合があります。
- 6、解答冊子は、どのページも切り離してはいけません。
- 7、試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってはいけません。

第1問

次の文章を読んで、後の問い(問1～4)に答えよ。

鈴木孝夫「テレビ型言語としての日本語」『言語』第三十三卷第八号、大修館書店、二〇〇四年より一部改変

注 音韻論……言語の構成要素である音声の機能を研究対象とする言語学の一分野。

音素……語の意味を区別できる音声上の最小単位。

問1 傍線部ア、オのカタカナを漢字に直せ。楷書ではつきり書くこと。

問2 傍線部①「文字は音声言語の不完全な影のようなものに過ぎないのだ」とあるが、筆者は現在の日本語の特徴をどのように捉えているのか。傍線部①の考え方と対比しながら本文中の言葉を用いて二〇字以内(句読点を含む)で説明せよ。

問3

A

には、次の1～4を並べ替えた文章が入る。最も適切な内容となるよう1～4を正しく並べよ。

1 ただし一つだけ制限条件があつて、主体が人間の場合は、出す音声に言葉としての意味が認められないようなものに限られる。

2 大事な点は音を出す主体が生物に限ること、もしそれが無生物であれば(なく)ではなく(なる)である。

3 だから音を出す主体は人、鳥、獣、そして虫でも構わない。音の出方は口とは限っていないから、蟬が腹、松虫が羽と足を使つても(なく)と言える。

4 だから話す、しゃべる、語るなどは(なく)に入らない。また(なく)ときの音の大きさや様式も、涙を伴うか否かも問題にしない。

問4

本文の内容に合致するものを次の中からすべて選び、番号で答えよ。

1 どのような文字を使つて書きしるしても、その言葉が変わるようなことはなく、それはどの言語についても当てはまる。

2 ヨーロッパの言語では、同じような文脈や場面で使われ意味が混同される恐れがある場合には、同音異義語の使用が回避される。

3 日本語には同音異義の漢字語があつて、それらはしばしば混同されるため、理解できないことが多くある。

4 固有の日本語の意味は、抽象的で個別具体性に乏しいことが多いため、日本語はテレビ型言語をやめることができない。

5 固有の表音文字に漢字を混ぜていた朝鮮語と同じ理由により、日本語も漢字を追い出すことができない。

第2問

次の文章を読んで、後の問い(問1と2)に答えよ。

問1 傍線部①に「理屈を語り始めるのだ」、傍線部②に「理屈の発表会になる」とあるが、筆者は「理屈」という言葉を使うことで、ワークショップ参加者がどのようにデザインしていることを示そうとしているのか。本文中の言葉を用いて、一二〇字以内(句読点を含む)で説明せよ。

問2 傍線部③「まず道具に徹することである」とあるが、これは筆者のデザインに対するどのような考えを示しているか。具体例を含め、本文中の言葉を用いて、一四〇字以内(句読点を含む)で説明せよ。

第3問 次の文章を読んで、後の問い(問1～7)に答えよ。

今は昔、ア、上東門院じやとうもんゐんに歌よみ優いひかの者にてさぶらふに、大齋院だいさいゐんより春つ方、

↑「つれづれにさぶらふに、さりぬべき物語や候さぶらふふ。」

と尋ね申させ給ひければ、御草子ごくさしども取り出ださせ給ひて、

「いづれをか参らすべき。」

など、選り出ださせ給ふに、ア、

「みな目馴めなれてさぶらふに、新しくつくりて参らせさせ給へかし。」

と申しければ、

「そらばつくれかし。」

と仰おほせられければ、源氏はつくりて参らせたりけるとぞ。

いよいよ心ばせずれて、めでたき者にてさぶらふほどに、伊勢大輔いせのたらいふ参りぬ。それもウの筋なれば、殿とのいみじうもてなさせ給ふ。奈良より、年に一度、八重桜を折りて持て参るを、ア、取り次ぎて参らせなど、歌よみけるに、

ア、

「今年は大輔に譲り候はむ。」

とて譲りければ、取り次ぎて参らするに、殿、

「遅し遅し。」

と仰せらるる御声につきて、

いにしへの奈良の都の八重桜今日九重ここのへにほひぬるかな

「取り次ぎつる程々ほどほどもなかりつるに、いつのまに思ひつづけけむ」と、人も思ふ、殿もおぼしめしたり。

めでたくて候ふほどに、致仕ちじの中納言の子の、越前守えちぜむのかみとて、いみじうやさしかりける人の妻めに成りにけり。逢ひ始めたりける頃、石山に籠りて音せオざりければ、つかはしける、

みるめこそあふみの海に「かたし」「む」吹きだに通へ志賀の浦風
とよみてやりたりけるより、いとど歌おぼえまさりにけり。

まことに子孫さかへ榮えて、六条の大式だいに、堀河の大式ほりかはなど申しける人々、この伊勢大輔の孫なりけり。白河院は曾孫ひいこおはしましけり。一の宮と申しける折、参りて見まゐらせけるに、

「鏡かがみを見よ。」

とて、たびたりけるに、たまはりて、

君見ればちりもくもらで万代よろうよのよはひをのみもます鏡かな

御返し、大夫殿、宮の御をぢにおはします、

曇りなき鏡キの光クますますも照らさむかげにかくれざらめや

『古本説話集』より一部改変

注 上東門院……一条天皇の中宮、藤原彰子。九八八〜一〇七四年。

大齋院……村上天皇の第十皇女。九六四〜一〇三五年。

殿……藤原道長。九六六〜一〇二八年。

石山……石山寺。

白河院……白川上皇。一〇五三〜一一二九年。

問1 空欄 ア には、本文中には出てこないある人物の名前が入る。その人物名を漢字で記せ。

問2 傍線部イ、エ、オを現代語訳せよ。

問3 空欄 ウ に入る言葉を本文の中から抜き出せ。

問4 傍線部力の二つの「」内の語を正しく活用させて、語句を完成させよ。

問5 傍線部キ「鏡の光」とあるが、この歌では何を鏡にたとえているのか、記せ。

問6 傍線部ク「照らさむかげにかくれざらめや」を、「かげ」が光を意味していることに留意して、現代語訳せよ。

問7 『古本説話集』は説話集である。次の中から説話集ではないものをすべて選び、番号で答えよ。

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|------|---|-------|---|-------|
| 1 | 無名草子 | 2 | 栄花物語 | 3 | 今昔物語集 | 4 | 日本霊異記 |
| 5 | 宇治拾遺物語 | 6 | 十訓抄 | 7 | 大鏡 | | |

令和4年度 一般選抜（前期日程） 問題訂正（国語）

訂正箇所	問題冊子 13ページ 注 5行目	
正	誤	
白河上皇	白川上皇	